

基本情報

科目名	教育方法・情報通信技術活用論
時間割コード	0440901801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	月 3, 他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
森 信之、嶋 政弘、宮園 博光

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 ディプロマ・ポリシーに示された能力の育成を意識した内容・展開を目指す。 2 多様な学習者に配慮して「教授と学習」という視点に立った学習指導の方法を理解する。 3 学習や学校生活における様々な場面に対する対応方法について理解する。 4 授業効果を高めるための方法としての教育情報機器の利用について理解し、活用できるようになる。
履修上の注意事項	履修上の注意事項 1 ペア・グループによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加30%、課題提出・発表30%、期末試験40%で評価する。
テキスト	使用しない。(毎回、学習プリント及び資料を配布する)
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
前半は、教育における方法的な立場から、教育方法の歴史や組織面（形態）及び改革等について学ぶ。また、指導案作成についても学習する。後半は、情報リテラシーや学習指導におけるICTの活用方法の理論及び実際について学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	授業のねらいと展開の方法（嶋政弘）	講義の特性から、事前学修は難しいが、事後学修として、学習したことに関する ことで、関心を持ったことや、疑問点について資料を集め、まとめる。	
2	教育方法の歴史（嶋政弘）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
3	教育方法の類型と特質（嶋政弘）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
4	教育方法の改革と課題：学力形成の方法論、教師と子供の関係性（嶋政弘）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
5	教育方法の改革と課題：学習の成果とその評価（嶋政弘）	事後学修として、関心を持ったことや、 疑問点について資料を集め、まとめる。	
6	学習指導の実際：学習指導案作成（嶋政弘）	学習指導案の作成要領に従い、自分の指導案を作成する。	
7	学習指導の実際：学習指導案作成（嶋政弘）	学習指導案の作成要領に従い、自分の指導案を作成する。	
8	学習指導の実際：学習指導案作成（嶋政弘）	学習指導案の作成要領に従い、自分の指導案を作成する。	
9	情報活用力（情報リテラシー能力）の学習の実際（森信之）	講義の特性から、事前学修は難しいが、 事後学修として、学習したことをまとめる。	
10	情報通信力（情報リテラシー能力）の教育と課題（森信之）	事後学修として、学習したことをまとめる。	

授業計画

前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面（形態）及び改革等について学ぶ。また、指導案作成についても学習する。後半は、情報リテラシーや学習指導におけるICTの活用方法の理論及び実際について学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	技術の発達と社会、教育の変化：新学習指導要領で求められる情報活用能力（宮園博光）	集中講義のため、時間的に、事前・事後学修をすることは難しいので、疑問点や課題を整理する。	
12	教育におけるICTの活用（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	
13	各教科におけるICTの活用（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	
14	学習環境および校務を支援するテクノロジーの役割（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	
15	模擬授業・研究授業における実施と評価（宮園博光）	疑問点や課題を整理する。	

基本情報

科目名	教育相談（カウンセリングを含む）
時間割コード	0440901401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
古賀 由紀子、豊永 亨輔	

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育相談とは、一人一人の子どもの教育上の諸問題について本人または、保護者、教師などにその望ましい在り方について指導助言することを意味しているが、特に学校生活において不適応を訴える児童生徒、保護者に対して主として個別援助するとき、これらの悩みや問題行動に対してどのように理解し、具体的に対応していったらよいか説明できる。 本科目の履修を通して、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探求し問題を解決できる能力を養う。
履修上の注意事項	・授業の最後に次の授業内容を予告するので、それについて予習をしておく。（60分） ・授業の復習を行うこと。（60分） ・毎回授業の振り返りと質問等を最後に書いてもらうが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては、授業の最初に答える。
評価方法	レポート20%、試験80%により評価する。
テキスト	特になし。随時プリントを配付する。
参考文献	「新しい学校教育相談の在り方と進め方 - 教育相談系の役割と活動 - 」栗原慎二著 ほんの森出版 2002年
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：養護教諭として公立学校勤務経験 豊永：教諭（教育相談担当）として県立高校勤務経験，スクールカウンセラーとして公立学校勤務経験

授業計画

授業計画	
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分） 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教育相談の考え方、教育相談の位置付け、生徒指導と教育相談（古賀）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
2	児童生徒理解の基礎（教育相談の内容、発育発達、疾病等の一般的理解）（古賀）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	児童生徒理解の基礎（個別的理解とその方法）（古賀）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
4	包括的な教育相談体制（マルチレベルアプローチ）に取り組む（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
5	学級で実施できるSST（グループワーク）（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
6	学校で使えるアセスメントツール（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
7	カウンセリングの理論と技法（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
8	認知と行動にアプローチする（認知行動療法）（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
9	資源にアプローチする（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	家族心理学（1）家族心理学の理論（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
11	家族心理学（2）教育相談への応用（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
12	チーム援助と支援会議（豊永）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
13	学校における教育相談の担い手（古賀）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
14	教育相談の課題について（古賀）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	
15	教育相談の機関と援助事業、支援ネットワークについて（古賀）	事前（60分）本時の授業内容に関わる部分について事前に課題を課すのでまとめておく。 事後（60分）当該授業に関する内容について復習し、さらに調べ授業後の理解を深める。	